

アートをつばさ13 おすすめの美術展覧会です

AAL (アート・アクティブ・ラーニング) を提唱している私から、皆さんにおすすめの美術展覧会を3つ紹介させていただきます。

まず、上野の森美術館で開催中の「**フェルメール展**」(2019年2月3日まで)です。現存する作品は世界に35点しかないと言われている**フェルメール(1632~1675)**の作品8点が1つの部屋(フェルメール・ルーム)に展示されています。これは、奇跡と言っていい出来事です。『牛乳を注ぐ女』『真珠の首飾りの女』『手紙を書く女』などです。

次に、同じ上野公園内にある**東京都美術館**で開催中の「**ムンク展**」(2019年1月20日まで)です。誰もが知ってる『**叫び**』は、版画を除くと4点が現存していますが、その内のテンペラ・油彩画の『**叫び**』(オスロ市立ムンク美術館蔵)が**初来日**しています。ぜひ、実物を見て「叫び」を聞いてください。また、**ムンク(1863~1944)**の初期から晩年までの作品約100点で、ムンクを深く知ることができます。

最後に、六本木の**国立新美術館**で開催中の「**ピエール・ボナール展**」(2018年12月17日まで)です。**ボナール(1867~1947)**を知らない人も多いと思いますが、その色彩の鮮やかさには目を奪われます。私は、ボナール研究者によるシンポジウムにも参加してきました。テーマは「**ボナール、ナビ派、日本**」でした。司会は、三浦篤東京大学教授。よく美術関係のテレビ番組で見る方です。パネルディスカッションのディスカッサントとして、高階秀爾大原美術館館長が登壇されました。大御所美術評論家です。はじめて、直接お話を聴くことができ、たいへん感動しました!

その他にも、東京にはアートにあふれた空間が数多くあります。ぜひ、この秋と冬は、**アートに触れる時間**もとって欲しいと思います。 AAL 提唱者より(*^_^*)!!

